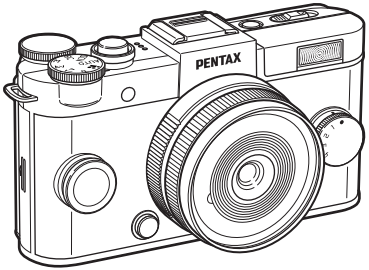
RICOH

デジタル一眼カメラ

PENTAX Q-S1

スタートガイド



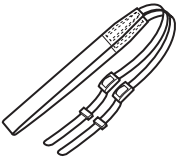
JA

このたびは、PENTAX Q-S1をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
この「スタートガイド」では、本機をお使いになるまでの準備と基本的な使い方を説明しています。正しい操作のために、ご使用前に本書をよくお読みください。
さまざまな撮影方法や設定など詳しい使い方については、当社ホームページで公開している「使用説明書」（PDF）をご覧ください。
「使用説明書」の詳細は、p.44を参照してください。

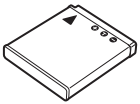
同梱品を確認しましょう

ホットシューカバー Fκ
（カメラ装着）

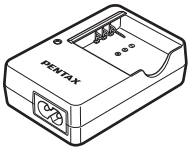
Qボディマウントカバー
（カメラ装着）



ストラップ
O-ST131

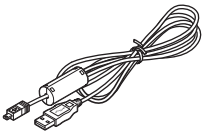


充電式リチウムイオン
バッテリー D-LI68

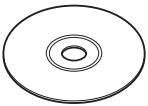


バッテリー充電器
D-BC68P

ACコード
D-CO2J



USBケーブル
I-USB7



ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW151

スタートガイド（本書）

保証書

PENTAX Q-S1で使用できるレンズ

本機で使用できるレンズは、Qマウントレンズです。別売のKマウントレンズ用アダプターQを利用すると、Kマウントレンズも取り付けることができます。（p.30）

目次

各部の名称と機能 3
ボタン・ダイヤル・レバー 4
画像モニターの表示 5
機能の設定方法 8
ダイレクトキーで設定する 8
コントロールパネルで設定する 8
メニューで設定する 9
メニュー一覧 10
撮影メニュー 10
動画メニュー 12
再生メニュー 12
詳細設定メニュー 13
カスタムメニュー 15
撮影前の準備 16
ストラップの取り付け 16
レンズの取り付け 16
バッテリーのセット 17
メモリーカードのセット 18
初期設定 18
メモリーカードのフォーマット 19
撮影のキホン 20
撮影モードの種類 21
スマートエフェクトを使って撮影する 24
画像の確認 25
再生モードパレット 26
撮影モードの機能制限 27
特殊機能の組み合わせ制限 29
各種レンズ使用時の機能 30
Kマウントレンズを利用する 31
主な仕様 32
USB接続と付属ソフトウェアの動作環境 36
ご注意ください 37
取り扱い上の注意 38
アフターサービスについて 41
「使用説明書」のご案内 44

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

著作権について

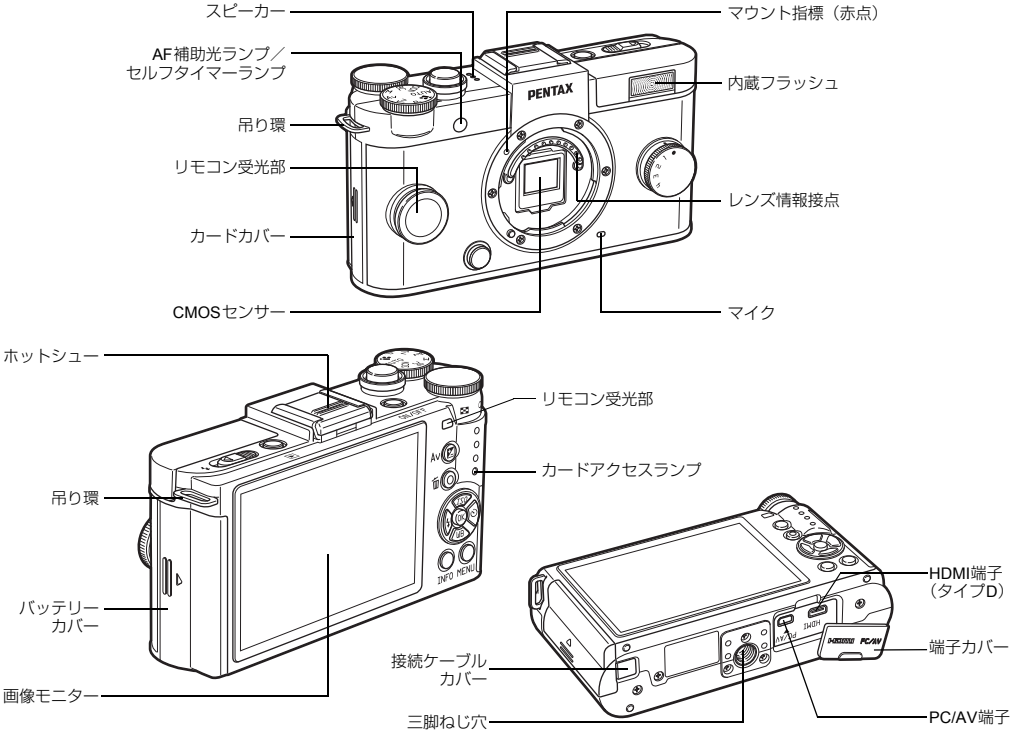
本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

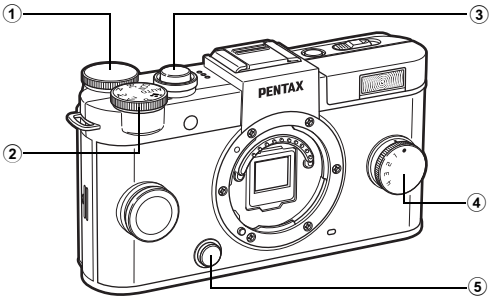
- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

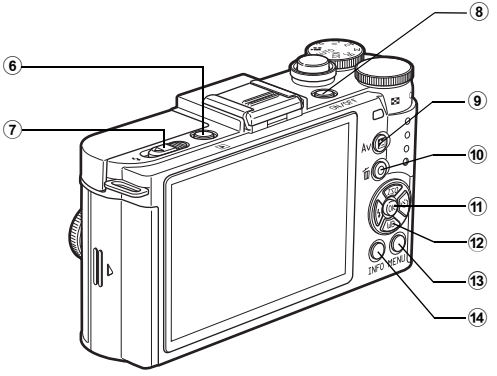
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

各部の名称と機能


スピーカー
AF補助光ランプ／
セルフタイマーランプ
吊り環
リモコン受光部
カードカバー
CMOSセンサー
マウント指標（赤点）
内蔵フラッシュ
レンズ情報接点
マイク
PENTAX
ホットシュー
リモコン受光部
カードアクセスランプ
吊り環
バッテリー
カバー
画像モニター
INFO MENU
HDMI端子
（タイプD）
端子カバー
接続ケーブル
カバー
三脚ねじ穴
PC/AV端子
PC/AV

ボタン・ダイヤル・レバー





① **電子ダイヤル（）**
シャッター速度／絞り値／露出補正値を設定します。（p.23）
コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り替えます。（p.8）
メニューが表示されているときは、タブを切り替えます。（p.9）
再生時には、画像を拡大／複数画像表示します。

② **モードダイヤル**
撮影モードを切り替えます。（p.20）

③ **シャッターボタン**
画像を撮影します。（p.20）
再生時は、半押しで撮影モードに切り替わります。

④ **クイックダイヤル**
スマートエフェクトなどの機能を簡単に呼び出すことができます。（p.24）

⑤ **レンズ取り外しボタン**
レンズを取り外すときに押します。（p.16）

⑥ **再生ボタン（）**
再生モードに切り替えます。（p.25）もう一度押すと撮影モードに切り替わります。

⑦ **フラッシュポップアップレバー**
内蔵フラッシュをポップアップします。

⑧ **電源ボタン**
電源のON／OFFをします。

⑨ **露出補正ボタン（）**
露出補正値や絞り値を変更するときに押します。（p.23）
再生時は、撮影バッファに残っているJPEG形式の画像をRAW形式で追加保存します。

⑩ **グリーン／消去ボタン（●／🗑）**
設定中の値をリセットします。機能を割り当てて使用することもできます。
再生時は、画像を消去します。（p.25）

⑪ **OKボタン（OK）**
コントロールパネル／メニューが表示されているときに、選択した項目を決定します。

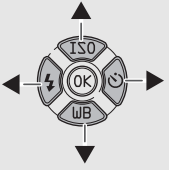
⑫ **十字キー（▲▼◀▶）**
ISO感度／ホワイトバランス／フラッシュモード／ドライブモードの設定画面を呼び出します。（p.8）
コントロールパネル／メニューが表示されているときは、カーソルの位置や項目を変更します。
再生時に▼を押すと、再生モードパレットを表示します。（p.26）

⑬ **MENUボタン（MENU）**
メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。（p.9）

⑭ **INFOボタン（INFO）**
画像モニターの表示を切り替えます。（p.5、p.7）

十字キーについて

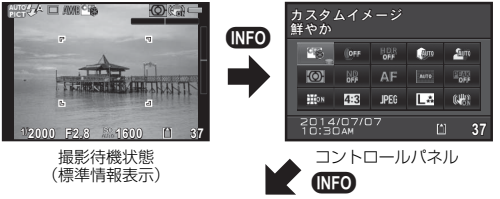
本書では、十字キーを右のように表記します。



画像モニターの表示

撮影時

撮影時には、画像と撮影機能の設定値が表示されます。この状態を「撮影待機状態」といいます。撮影待機状態でINFOを押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。（p.8）コントロールパネル表示中にINFOを押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。

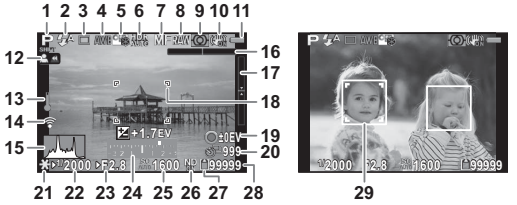


撮影待機状態
（標準情報表示）

コントロールパネル

撮影情報表示選択

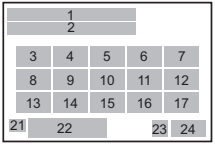
撮影待機状態



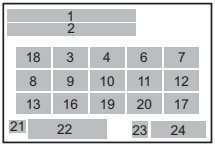
1 撮影モード
2 フラッシュモード
3 ドライブモード
4 ホワイトバランス
5 カスタムイメージ
6 HDR 撮影／デジタルフィルター
7 **MF**モード
8 記録形式
9 測光方式
10 Shake Reduction／Movie SR
11 バッテリー残量
12 **MF**モードピントリング操作中
13 温度警告
14 Eye-Fi通信状態
15 ヒストグラム
16 電子水準器（左右方向）
17 電子水準器（前後方向）
18 AFフレーム
19 リセット操作ガイド
20 インターバル撮影／多重露出／スマートエフェクト
21 AEロック
22 シャッター速度
23 絞り値
24 露出バー
25 ISO感度
26 NDフィルター
27 メモリーカード
28 撮影可能枚数
29 AF方式「顔検出」の顔検出枠

コントロールパネル

モード



モード



1 機能名称
2 設定
3 カスタムイメージ／**SCN**モード
4 デジタルフィルター
5 HDR撮影
6 ハイライト補正
7 シャドー補正
8 測光方式
9 NDフィルター
10 フォーカスモード
11 AF方式
12 フォーカスアシスト
13 ディストーション補正
14 アスペクト比
15 記録形式
16 JPEG記録サイズ・画質／動画記録サイズ
17 Shake Reduction／Movie SR
18 露出設定
19 フレームレート
20 録音レベル
21 目的地
22 現在の日時
23 メモリーカード
24 撮影可能枚数／記録可能時間

再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示されます。
INFO を押すと、1画像表示中の表示情報を変更できます。◀▶で選択して OK を押します。

1画像表示
（標準情報表示）

再生情報表示選択

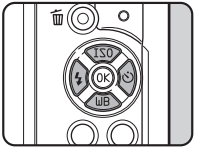
機能の設定方法

カメラの機能を使ったり設定を変更するには、次のいずれかの方法で行います。

ダイレクトキー	撮影待機状態で▲▼◀▶を押す
コントロールパネル	撮影待機状態でINFOを押す (本書ではmarkmarkマークで表示)
メニュー	MENUを押す

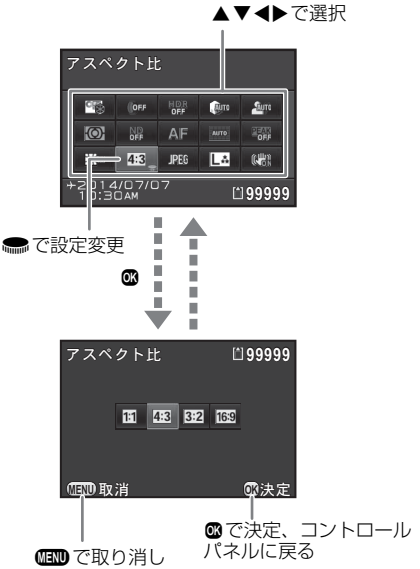
ダイレクトキーで設定する

▲	ISO感度
▼	ホワイトバランス
◀	フラッシュモード
▶	ドライブモード



コントロールパネルで設定する INFO

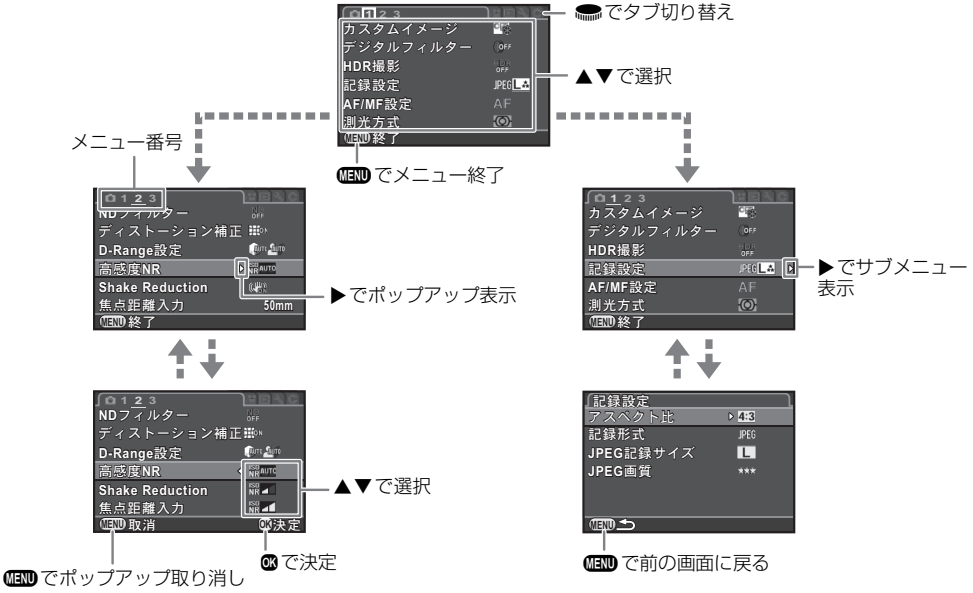
よく使用する撮影機能が設定できます。撮影待機状態でINFOを押します。



メニューで設定する

MENU

ほとんどの機能はメニューで設定します。コントロールパネルで設定できる機能もメニューで設定できます。



メニュー一覧

撮影メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定
1	**カスタムイメージ** *1		色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか
	デジタルフィルター *1		フィルター効果をかけて撮影	フィルターオフ
	HDR撮影 *1		ハイダイナミックレンジ撮影	オフ
	記録設定	**アスペクト比** *1	画像の横：縦の比率を設定	4:3
		記録形式 *1	ファイルフォーマットを設定	JPEG
		JPEG記録サイズ *1	JPEGで記録した場合の記録サイズを設定	L
		JPEG画質 *1	JPEGで記録した場合の画質を設定	★★★
	AF/MF設定	**フォーカスモード** *1	オートフォーカスとマニュアルフォーカスを選択	**AF**
		AF方式 *1	**AF**時のオートフォーカスの方法を選択	多点オート
		AF補助投光	暗い場所でオートフォーカスするときに、補助投光を行うかどうかを設定	オン
		MF時の自動拡大	画像モニターの表示を拡大してピントを合わせやすくする	オフ
		フォーカスアシスト *1	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ
	測光方式 *1		センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定	分割

メニュー	項目		機能	初期設定
2	**NDフィルター** *1		レンズに内蔵されたNDフィルターを使用するかどうか設定	オフ
	ディストーション補正 *1		レンズの特性によって生じる歪曲収差を軽減	オン
	D-Range設定	**ハイライト補正** *1	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート
		シャドー補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート
	高感度NR		高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート
	Shake Reduction *1		手ぶれ補正機能を設定	オン
	焦点距離入力		レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用している場合に設定	0.0mm
3	**ライブビュー**	**電子水準器**	撮影待機状態で左右・前後のカメラの傾きを表示	オン
		グリッド表示	撮影待機状態でグリッドを表示	オフ
		ヒストグラム表示	撮影待機状態でヒストグラムを表示	オフ
		白とび警告	撮影待機状態で白とび部分を赤で点滅表示	オフ
	クイックビュー	**表示時間**	クイックビューの表示時間を設定	1秒
		拡大表示	クイックビュー中に拡大表示するかどうかを設定	オフ
		RAW追加保存	クイックビュー中にRAW画像を追加保存するかどうかを設定	オン
		消去	クイックビュー中に消去するかどうかを設定	オン
		ヒストグラム表示	クイックビュー中にヒストグラムを表示	オフ
		白とび警告	クイックビュー中に白とび部分を赤で点滅表示	オフ
	クイックダイヤル		クイックダイヤルに機能を割り当て	スマートエフェクト
	グリーンボタン	**グリーンボタン**	○に機能を割り当て	グリーンボタン
		M/TAv時の動作	M／TAvモードで○を押したときの動作を設定	P LINE
		P時の電子ダイヤル	Pモードで◎を操作したときに変更する値を設定	P SHIFT
	モードメモリ		電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	フォーカス位置／デジタルフィルター／HDR撮影以外オン

*1　コントロールパネルでも設定可

動画メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定
🎥1	**露出設定** *1	シャッター速度／絞り値を手動で設定するかどうかを選択	プログラム自動露出
	デジタルフィルター *1	フィルター効果をかけて撮影	フィルターオフ
	記録設定 *1	動画の記録サイズとフレームレートを設定	FullHD／30fps
	録画中のAF.C	動画録画中もオートフォーカスを継続	オン
	録音レベル *1	記録時の音量を設定	音量3
	Movie SR *1	動画の手ぶれ補正機能を設定	オン

*1　コントロールパネルでも設定可

再生メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定
▶1	**スライドショウ**	**表示間隔**	画像切り替えの間隔を設定	3秒
		画面効果	画像切り替え時の効果を選択	オフ
		繰返し再生	最後の画像の再生後に最初から再生を繰り返す	オフ
		動画自動再生	スライドショウ中に動画も再生	オン
	クイック拡大		拡大表示での最初の拡大率を設定	オフ
	白とび警告		再生モードの標準情報表示／ヒストグラム表示で白とび部分を赤で点滅表示	オフ
	画像の自動回転		縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時に回転して表示	オン
	全画像消去		保存されているすべての画像を消去	–

詳細設定メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定
🔧1	**Language/言語**		表示言語の切り替え	English
	日時設定		年月日の表示形式と日時を設定	2014/01/01
	ワールドタイム		現在地と指定した都市の日時を切り替えて表示	現在地
	電子音		合焦音／AE-L／セルフタイマー／リモコン／ワンタッチRAW+／シャッター音の音量とオン／オフを切り替え	音量3 シャッター音：1 それ以外オン
	画面表示	**ガイド表示**	撮影モードを変更したときに、ガイド表示を表示するかどうかを設定	オン
		配色	コントロールパネルとメニューの配色を設定	1
	LCD設定		画像モニターの明るさと色味を調整	0
🔧2	**フリッカー低減**		電源周波数を設定し、画面のちらつきを低減	50Hz
	外部接続	**ビデオ出力**	AV機器とビデオ端子で接続するときに設定	–
		HDMI出力	AV機器とHDMI端子で接続するときに設定	オート
		USB接続	パソコンと接続するときの転送モードを設定	MSC
	フォルダー名		画像が保存されるフォルダー名の付け方を設定	日付
	フォルダー新規作成		メモリーカードに新しいフォルダーを作成	–
	ファイルNo.	**連番設定**	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継続するかどうかを設定	オン
		ファイルNo.リセット	ファイル番号をリセットし、0001から開始	–
	Eye-Fi		Eye-Fiカードを使用するときの動作を設定	オフ

メニュー	項目	機能	初期設定
🔧3	**エコモード**	5秒間操作しなかったときに、画像モニターを自動的に暗くしてバッテリーの消耗を抑制	オン
	オートパワーオフ	一定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるまでの時間を設定	1分
	リセット	📷メニュー／🎥メニュー／▶メニュー／🔧メニュー／ダイレクトキー／コントロールパネル／再生モードパレットの設定内容を初期化	–
🔧4	**ピクセルマッピング**	CMOSセンサーの画素の欠損部分を補完	–
	ダストリムーバル	CMOSセンサーを振動させてクリーニング	–
	フォーマット	メモリーカードをフォーマット	–
	バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョンを表示	–

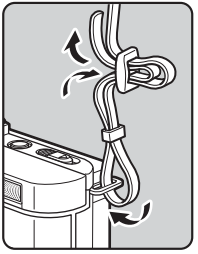
カスタムメニュー

メニュー	項目	機能	初期設定
C1	**1. レンズシャッターの動作**	レンズシャッターと電子シャッターの使用を設定	レンズシャッターのみ使用
	2. ISO感度ステップ	ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ
	3. AFロック時のAE-L	フォーカスロック時のAEロックを設定	オフ
	4. 測距点と露出の関連付	分割測光時に露出値とAFエリア内の測距点を関連付け	オフ
	5. ブラケット撮影順	露出ブラケット撮影時の撮影順を設定	0 - +
	6. フラッシュ発光時のWB	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定	AWB
C2	**7. 白熱灯下のAWB**	ホワイトバランスAWBのときの白熱灯の色味を設定	弱
	8. AFの動作	AF中にシャッターボタンを全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先
	9. リモコン時のAF	リモコン撮影時のオートフォーカス動作を設定	オフ
	10. AF時のフォーカスリング	AF時にフォーカスリングを無効化	有効
	11. フラッシュ収納時の発光	内蔵フラッシュ収納時の発光を設定	発光する
	12. 充電中のレリーズ	フラッシュ充電中の撮影可否を設定	オフ
C3	**13. 色空間**	使用する色空間を設定	sRGB
	14. 回転情報の記録	回転情報を記録するかどうかを設定	オン
	15. メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶、次にMENUを押したときに記憶した画面を表示	記憶しない
	16. SRの自動オフ	セルフタイマー撮影／リモコン撮影時に自動的にShake Reductionをオフにする	自動オフする
	カスタムのリセット	C1～3メニューの設定内容をリセット	–

撮影前の準備

ストラップの取り付け

1 **ストラップの先端をカメラの吊り環に通し、留め具の内側に固定する**



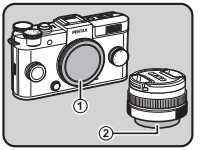
2 **もう一方も同様に取り付ける**

レンズの取り付け

1 **カメラの電源がOFFになっていることを確認**

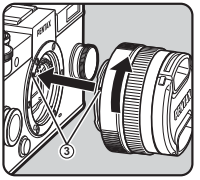
2 **ボディマウントカバー（①）とレンズマウントカバー（②）を外す**

カバーを外したレンズは、カメラに取り付ける面を上にして置く



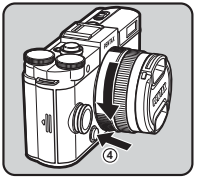
3 **カメラとレンズのマウント指標（赤点／③）を合わせて差し込み、レンズを右に回す**

「カチッ」と音がするまで回す



取り外すとき

レンズキャップを取り付ける→レンズ取り外しボタン（④）を押しながらレンズを左へ回す

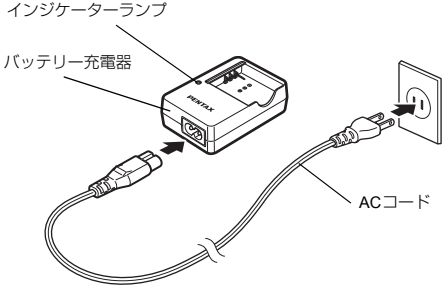


バッテリーのセット

バッテリーを充電する

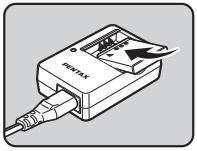
1 バッテリー充電器にACコードを接続

2 ACコードをコンセントに差し込む



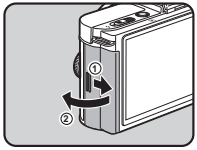
3 ▲マークがある面を上にしてバッテリーを充電器にセット

充電中はインジケーターランプ点灯（充電時間の目安：最大約115分）
ランプが消灯したら充電完了



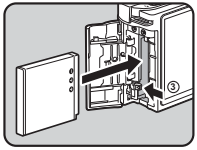
バッテリーを入れる

1 バッテリーカバーを ① の方向にスライド

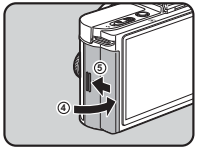


2 バッテリーの ▲ マークをカメラのレンズ側に向け、ロックするまで挿入

取り出すときは、バッテリーロックレバーを③の方向に押す

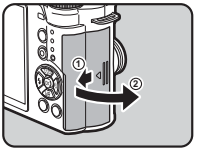


3 バッテリーカバーを閉じ、⑤の方向にスライド



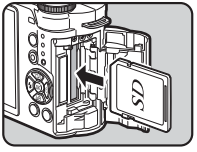
メモリーカードのセット

1 カードカバーを ① の方向にスライド

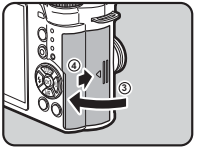


2 メモリーカードのラベル面を画像モニター側に向けて奥まで挿入

取り出すときは、メモリーカードをさらに押し込む



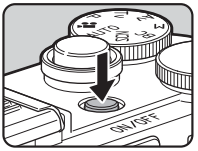
3 カードカバーを閉じ、④の方向にスライド



初期設定

1 電源ボタンを押す

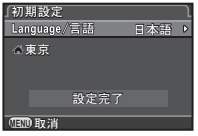
「Language/言語」画面が表示



2 ▲▼◀▶で言語を選択して OK を押す

選択した言語で「初期設定」画面が表示

⌂ に都市名が正しく設定されているときは、手順7に進む



3 ▼で選択枠を ⌂ に移動し、▶を押す

「⌂ 現在地」画面が表示

4 ◀▶で都市を選択

で地図表示切り替え

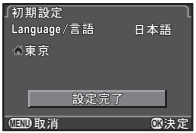
5 ▼で「夏時間」を選択、◀▶で□／☑を設定

6 OK を押す

「初期設定」画面に戻る

7 ▼で「設定完了」を選択、OKを押す

「日時設定」画面が表示



8 ▶を押し、▲▼で日付の表示スタイルを選択

9 ▶を押し、▲▼で24h／12hを選択

10 OKを押す

選択枠が「表示スタイル」に戻る

11 ▼を押してから▶を押す

選択枠が西暦年に移動

12 ▲▼で西暦年を設定

同様に月／日と時刻を設定

13 ▼で「設定完了」を選択、OKを押す

撮影モードになり、撮影できる状態になる

メモリーカードのフォーマット 🔧4

1 MENUを押す

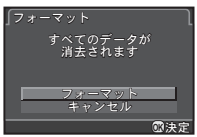
1メニューが表示

2 ◎で🔧4メニューを表示

3 ▲▼で「フォーマット」を選択、▶を押す

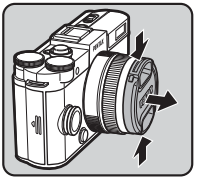
「フォーマット」画面が表示

4 ▲ で「フォーマット」を選択、OKを押す

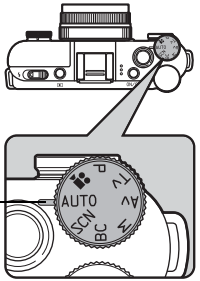


撮影のキホン

1 図の矢印部分を押してレンズキャップを外す



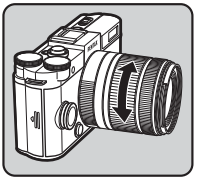
2 モードダイヤルを回して撮影モードを選ぶ



画像モニターに、撮影モードが表示（ガイド表示）

3 画像モニターで被写体を確認

4 ズームレンズを使っているときは、ズームリングを左右に回して写す範囲を決める



5 AF フレーム内に被写体を入れてシャッターボタン半押し

ピントを合わせる

AFフレーム

6 シャッターボタン全押し

撮影画像が画像モニターに表示（クイックビュー）

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

🗑	消去
🖼	RAW画像を追加保存

撮影モードの種類

被写体や状況によって撮影モードを選択します。
本機では以下の撮影モードがあります。

撮影モード	用途
AUTO **オートピクチャーモード**	（標準）／（人物）／（風景）／（マクロ）／（夜景人物）／（夕景）／（青空）／（フォレスト）から最適な撮影モードをカメラが自動選択
SCN **シーンモード**	さまざまな撮影シーンから目的に合った撮影モードを選択
BC **ボケコントロールモード**	ピント位置が異なる画像を合成し、絞りを開いて被写界深度を浅くしたような画像を撮影
P／Tv／Av／M **露出モード**	シャッター速度と絞り値を設定して撮影
動画モード	動画を撮影

メモ

- 撮影モードによって設定できる機能に制限があります。「撮影モードの機能制限」（p.27）を参照してください。

シーンモード

1 モードダイヤルをSCNに合わせる

シーンモード選択画面が表示

2 ▲▼◀▶でシーンを選択

	人物	肌色を健康的に仕上げる
	風景	木々の緑を鮮やかに仕上げる
	マクロ	花などに近づいて撮影
	動体	動きがある被写体を撮影
	夜景人物	夜景を背景に人物を撮影
	夕景	朝焼けや夕焼けを撮影
	青空	深い青で青空を撮影
	フォレスト	木漏れ日や木々の緑を鮮やかに表現
	夜景	夜景を撮影
HDR	**夜景HDR**	露出が異なる3枚の画像を合成して仕上げる
	ナイトスナップ	暗いところでのスナップ撮影
HDR	**HDR**	3枚の画像を合成して幅広い階調を表現
	テーブルフォト	テーブル上の小物などを撮影

	料理	彩度を高めにして料理などを撮影
	ペット	動き回るペットなどを撮影
	キッズ	動きの多い子供の肌色を健康的に撮影
	サーフ&スノー	砂浜や雪山など背景が明るい場所で撮影
	逆光シルエット	逆光で被写体がシルエットになるように仕上げる
	キャンドルライト	ろうそくの明かりを生かして撮影
	ステージライト	暗いところで動きのある被写体を撮影
	美術館	フラッシュが使用できない場所での撮影

3 OKを押す

メモ

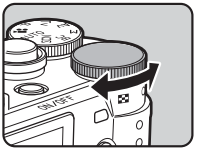
- シーンは、コントロールパネルまたは1メニューで変更できます。

ボケコントロールモード

1 モードダイヤルをBCに合わせる

2 で調整

ボケ具合は再生モードで確認



露出モード

○：設定可　△：条件付で可　×：設定不可

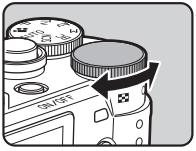
モード	シャッター速度変更	絞り値変更	ISO感度変更	露出補正
P プログラム自動露出	△ *1	△ *1	○	○
Tv シャッター優先自動露出	○	×	○	○
Av 絞り優先自動露出	×	○	○	○
M マニュアル露出	○	○	○ *2	×

*1　3メニュー「グリーンボタン」で変更する値を指定可能
*2　ISO AUTOに設定すると**TAv**（シャッター&絞り優先自動露出）モードで動作

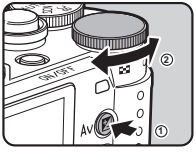
1 モードダイヤルを**P**／**Tv**／**Av**／**M**に合わせる

変更可能な値に▶表示

2 で調整



3 **M**モードは（①）を押してから（②）で絞り値変更



P／**Tv**／**Av**モードは、この操作で露出補正（1/3 EV単位、-3～+3 EV）

露出バー

動画モード

1 **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

録画可能時間

2 **シャッターボタンを半押し**

フォーカスモードが**AF**のときは、オートフォーカスでピント合わせ

3 **シャッターボタンを全押し**

撮影開始
画面左上に●点滅表示
フォーカスモードが**AF**のときは、OKでオートフォーカス

4 **シャッターボタンを全押し**

撮影終了

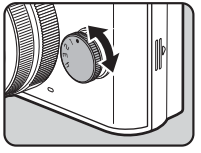
スマートエフェクトを使って撮影する

さまざまな効果を設定して撮影ができます。
以下のエフェクトが用意されています。

極彩	**ドラマチックアート**
ソリッドモノカラー	**ハードモノクローム**
Auto110モード	**あでみやび**
アンティーク	**フェードカラー**
さくらほのか	**USER 1〜3**

1 **撮影待機状態でクイックダイヤルのポジション1〜4を選択**

初期設定では、極彩／ソリッドモノカラー／Auto110モード／アンティークが選択可能



2 **撮影する**

3 **撮影終了後は、クイックダイヤルをポジション0に戻す**

元の設定に戻る

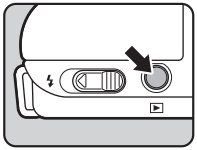
メモ

- その他のエフェクトを利用する場合は、クイックダイヤルの設定を変更する必要があります。設定の手順は、「使用説明書」を参照してください。

画像の確認

1 ▶を押す

再生モードになり、最新画像が表示（1画像表示）



2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

◀	前の画像を表示
▶	次の画像を表示
🗑	消去
右	拡大（最大16倍） ▲▼◀▶で拡大位置移動 ●で中央に戻る
左	分割表示
	RAW画像を追加保存（保存可能時のみ）
INFO	表示情報切り替え
▼	再生モードパレット表示

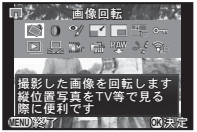
動画の再生

ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	（一時停止中）コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	（一時停止中）コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
▼	停止
	音量調節（6段階）
	（一時停止中）表示中のコマをJPEG形式で保存

再生モードパレット

再生に関する機能は、▶1メニューのほかに、再生モードパレットで指定します。
再生モードパレットでは、画像の編集などができます。



項目	機能
画像回転 *1	画像の回転情報を変更
デジタルフィルター *1	デジタルフィルターで加工
赤目補正 *1 *2	赤目になった人物の画像を補正
リサイズ *1 *2	画像の記録サイズを変更
トリミング *1 *2	画像の必要な部分だけを切り取り
インデックス	複数画像を1枚に貼り付けて保存
プロテクト	画像を誤って消去しないように保護
スライドショウ	画像を連続再生
マニュアルWB登録 *1	撮影済み画像のホワイトバランス設定値をマニュアルホワイトバランスに登録
クロスプロセス登録	カスタムイメージ／スマートエフェクトのクロスプロセスで撮影した画像の設定値をお気に入りに登録
スマートエフェクト登録 *1	お気に入り写真の撮影設定をクイックダイヤルに登録
RAW展開 *3	RAW画像をJPEGに変換
動画編集 *4	動画を分割または不要部分を消去
Eye-Fi画像転送	Eye-Fiカード使用時に、画像を選択して転送

*1　動画表示時は実行不可
*2　RAW画像表示時は実行不可
*3　RAW画像保存時のみ実行可
*4　動画表示時のみ実行可

撮影モードの機能制限

×：組み合わせ不可　△：制限付きで組み合わせ可

撮影モード／機能		AUTO	SCN											BC	Bulb	🎥
							HDR									
ISO感度		AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	×	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定		～ISO 1600	
フラッシュ		⚡A⊛ のみ	⚡A⊛ のみ	×	⚡A⊛ のみ	⚡A⊛ のみ	×	⚡A⊛ のみ	⚡A⊛ のみ	×	⚡A⊛ のみ	×	×			×
ドライブモード	1コマ撮影					×				×	×					×
	連続撮影					固定*1	×		×	固定*1	固定*1			×	×	×
	セルフタイマー					×				×	×					×
	リモコン 即／3秒					×				×	×					のみ
	リモコン 連続撮影					×	×		×	×	×			×	×	×
	露出ブラケット					×	×		×	×	×			×	×	×
	多重露出					×	×		×	×	×			×		×
	インターバル撮影					×	△*2		×	×	×			×	×	
フォーカスモード		固定	固定			固定		固定		固定	固定	固定				以外
記録形式	RAW／RAW+						×		×					×		×

撮影モード／機能	AUTO	SCN											BC	Bulb	🎥
ShakeReduction						×								×	
ホワイトバランス	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定			
カスタムイメージ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
デジタルフィルター						×									
HDR撮影						専用設定		×					×	×	×
バッファ RAW保存					×	×			×	×					×

*1　JPEG時🖫、RAW／RAW＋時🖫
*2　最短撮影間隔10秒

特殊機能の組み合わせ制限

×：組み合わせ不可

		連続撮影	露出ブラケット	多重露出	インターバル撮影	デジタルフィルター	スマートエフェクト	HDR撮影
フラッシュ								×
ドライブモード	連続撮影		×	×	×			×
	セルフタイマー	×	×	×	×			
	リモコン連続撮影	×	×	×	×			×
	露出ブラケット	×		×	×			×
	多重露出	×	×		×	×	×	×
	インターバル撮影	×	×	×				
記録形式	RAW／RAW+	固定		×				×
カスタムイメージ							×	
デジタルフィルター				×			×	×
スマートエフェクト				×		×		×
バッファ RAW保存		×	×	×				×

各種レンズ使用時の機能

Aグループ	01 STANDARD PRIME（単焦点） 02 STANDARD ZOOM（ズーム） 06 TELEPHOTO ZOOM（ズーム） 08 WIDE ZOOM（広角ズーム）
Bグループ	04 TOY WIDE（広角） 05 TOY TELEPHOTO（望遠） 07 MOUNT SHIELD
Cグループ	03 FISH-EYE（魚眼）
Dグループ	Kマウントレンズ用アダプター Q使用

○：使用可　△：機能制限あり　×：使用不可

機能＼レンズ種類	A グループ	B グループ	C グループ	D グループ
AF	○	×	×	×
MF	○	○*1	○	○
クイックシフトフォーカス	○	×	×	×
AF方式	○	×	×	×
MF時の自動拡大	○	×	×	×
絞り制御	○	×	×	△*2
レンズ内蔵NDフィルター	○	×	×	×
レンズ内蔵シャッター	○	×	×	○*3
電子シャッター	○*4	○	○	○*4
AUTO／**SCN**／**BC**モード	○	△*5	△*5	△*2
P／**Tv**／**Av**モード	○	△*5	△*5	△*2
Mモード	○	△*5 *6	△*5 *6	△*2
🎥モード	○	△*5	△*5	△*2
録画中のAF.C	○*7	×	×	×
P-TTLオートフラッシュ	○*8	○*9	△*9 *10	△*9 *11

*1　07 MOUNT SHIELDはピント合わせ機構なし
*2　絞り手動設定
*3　アダプターに内蔵されているレンズシャッターを使用
*4　**C**1メニュー「1. レンズシャッターの動作」を「電子シャッターとの併用」または「電子シャッターのみ使用」に設定。「電子シャッターとの併用」に設定した場合、レンズ内蔵シャッターよりも高速側を電子シャッターで撮影
例）01 STANDARD レンズの場合
1/2000秒以下はレンズ内蔵シャッターで撮影、1/2000秒超～を電子シャッターで撮影
*5　絞り固定
*6　**Bulb**モード不可　シャッター速度の低速側は2秒まで
*7　06 TELEPHOTO ZOOMは不可
*8　内蔵フラッシュ＝1/2000秒、外付けフラッシュ＝1/250秒
*9　フラッシュ同調速度は約1/13秒
*10　配光ムラが生じる
*11　配光ムラが生じる場合がある

内蔵フラッシュとの適合

レンズによって、内蔵フラッシュの使用に制限があります。

レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
02 STANDARD ZOOM	Wide端でケラレ発生のため、焦点距離6mm以上で使用
03 FISH-EYE	ケラレ発生のため、内蔵フラッシュ使用不可
08 WIDE ZOOM	レンズの画角をカバーしていないため、撮影条件によっては配光ムラが目立つ場合がある

フードについて

02 STANDARD ZOOMにフードを使用する場合は、PH-RBB 40.5mmを利用してください。PH-SBA 40.5mmでは、Wide端でケラレが発生する場合があります。

フィルターについて

02 STANDARD ZOOMに100PLフィルターを使用した場合、Wide端でケラレが発生します。

Kマウントレンズを利用する

別売のKマウントレンズ用アダプターQを利用すると、本機にKマウントレンズを取り付けることができます。その場合「Shake Reduction」などに必要な焦点距離が自動で取得できないため、手動で設定する必要があります。

1 カメラの電源を切る

2 カメラにアダプターとレンズを装着し、電源を入れる

「焦点距離入力」画面が表示

3 レンズ焦点距離を指定

ボタン・ダイヤル操作

▲▼	数値変更
◀▶	桁選択
	数値一覧から選択

ズームレンズ使用時は、ズームの焦点距離を設定

4 OKを押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- レンズ焦点距離は、2メニュー「焦点距離入力」で変更できます。
- Kマウントレンズ用アダプターQを使用すると、Mモード以外の撮影モードはAvモードで動作します。
- 詳細は、Kマウントレンズ用アダプターQの使用説明書を参照してください。

主な仕様

型式

型式	レンズ交換式デジタル一眼カメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット Qマウント
使用レンズ	Qマウントレンズ

撮像部

撮像素子	種類：原色フィルター／CMOS サイズ：1/1.7型
有効画素数	約1240万画素
総画素数	約1276万画素
ダストリムーバル	超音波振動による撮像素子クリーニング機能「DR Ⅱ」
感度 （標準出力感度）	ISO AUTO 100～12800（1/3 EVステップ） • 2秒より長秒時はISO 1600まで
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式

記録形式

画像ファイル形式	RAW（DNG）、JPEG（Exif 2.3）準拠、DCF 2.0準拠
記録サイズ （画素数）	JPEG：4:3 L 12M（4000×3000） M 7M（3072×2304） S 3M（1920×1440） 3:2 L 10M（4000×2664） M 6M（3072×2048） S 2M（1920×1280） 16:9 L 9M（4000×2248） M 5M（3072×1728） S 2M（1920×1080） 1:1 L 9M（2992×2992） M 5M（2304×2304） S 2M（1440×1440） RAW：4:3 L 12M（4000×3000）
画質	RAW（12bit）：DNG JPEG：★★★（スーパーファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー） • RAWとJPEGの同時記録可能
色空間	sRGB、AdobeRGB
記録媒体	SD／SDHC／SDXCメモリーカード、 Eye-Fiカード
記録フォルダー	日付（100_1018、100_1019・・・）／ PENTX（100PENTX、101PENTX・・・）

画像モニター

形式	TFTカラー LCD、広視野角タイプ、ARコート
イメージサイズ	3.0型
ドット数	約46万ドット
調整	明るさ調整、色調整
表示	視野率約100%、電子水準器、グリッド表示（16分割表示、黄金分割表示、スケール表示）、白とび警告表示、ヒストグラム表示

ホワイトバランス

オート	撮像素子によるTTL方式
プリセット	太陽光、日陰、曇天、蛍光灯（**D**：昼光色、**N**：昼白色、**W**：白色、**L**：電球色）、白熱灯、フラッシュ、**CTE**、マニュアル
マニュアル	モニター確認による設定（3種類登録可）、撮影画像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で±7ステップで調整可

フォーカス

方式	コントラスト検出式
輝度範囲	EV 0～18（ISO 100）
フォーカスモード	**AF**／**MF**切り替え式
AF方式	顔検出、追尾、多点オート、セレクト、スポット
AF補助光	専用LEDによるAF補助光
MF時の自動拡大	オフ／×2／×4／×6

フォーカスアシスト	オフ／オン

露出制御

測光方式	TTL撮像センサー測光、分割測光／中央重点／スポット
露出範囲	EV 1～17（ISO 100・F 1.9レンズ使用時）、シャッター拡張設定で+2 EV、NDフィルター使用で+2 EV
露出モード	オートピクチャーモード（標準、人物、風景、マクロ、夜景人物、夕景、青空、フォレストを自動選択） シーンモード（人物、風景、マクロ、動体、夜景人物、夕景、青空、フォレスト、夜景、夜景HDR*、ナイトスナップ、HDR*、テーブルフォト*、料理、ペット、キッズ、サーフ&スノー、逆光シルエット、キャンドルライト、ステージライト、美術館） プログラム、シャッター優先、絞り優先、マニュアル、バルブ、ポケコントロール* *JPEG固定
露出補正	± 3 EV（1/3 EVステップ）
AEロック	メニューにて●／🗑ボタンに割り当て可能
シャッター	レンズシャッター方式：1/2000～30秒（1/3 EVステップ、拡張設定の電子シャッター併用許可で1/8000～30秒）、バルブ • レンズシャッター非搭載レンズでは、電子シャッターによる1/8000～2秒、バルブは不可
絞り	開放～F 8 • レンズシャッター非搭載レンズは設定不可
NDフィルター	オフ／オン • レンズシャッター非搭載レンズは設定不可

ドライブ

ドライブモード	1コマ、連続（Hi、Lo）、セルフタイマー（12秒後、2秒後）、リモコン（即、3秒後、連続）、露出ブラケット（3コマ、リモコン）、多重露出（即、セルフタイマー、リモコン）、インターバル
連続撮影	約5コマ/秒、JPEG（4:3 L 12M・★★★・連続Hi）：5コマまで 約1.5コマ/秒、JPEG（4:3 L 12M・★★★・連続Lo）：100コマまで

フラッシュ

内蔵フラッシュ	P-TTL内蔵フラッシュ、ガイドナンバー約4.9（ISO 100・m）、約7（ISO 200・m）、28mmレンズの画角（35ミリ判換算）をカバー
発光方式	P-TTL、赤目軽減、スローシンクロ、後幕シンクロ
シンクロ同調速度	レンズシャッター時：内蔵フラッシュ 1/2000秒、外付けフラッシュ 1/250秒 電子シャッター時：1/13秒
フラッシュ光量補正	-2.0～+1.0 EV

撮影機能

カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅、ポップチューン、ほのか、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
ノイズリダクション	高感度NR
ダイナミックレンジ設定	ハイライト補正、シャドー補正
レンズ収差補正	ディストーション補正
デジタルフィルター	トイカメラ、ハイコントラスト、シェーディング、ドラマチックアート、ネガポジ反転、色抽出、ソリッドモノカラー、水彩画、ポスタリゼーション、スリム、フィッシュアイ
HDR撮影	オート、Type1、Type2
多重露出	撮影回数2～9回、自動露出調整
インターバル	撮影間隔（3秒～24時間）、最大撮影枚数999枚、開始トリガー（即時、時刻指定）
スマートエフェクト	極彩、ソリッドモノカラー、Auto110モード、アンティーク、さくらほのか、ドラマチックアート、ハードモノクローム、フェードカラー、あでみやび、USER 1～3

電子水準器	画像モニター表示（左右・前後の傾き）

動画

ファイル形式	MPEG-4 AVC／H.264
記録サイズ	Full HD（1920×1080・16:9・30fps／25fps／24fps） HD（1280×720・16:9・30fps／25fps／24fps） VGA（640×480・4:3・30fps／25fps／24fps）
音声	内蔵モノラルマイク
記録時間	最長約25分、内部温度上昇時は自動終了
カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅、ポップチューン、ほのか、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
デジタルフィルター	トイカメラ、ハイコントラスト、シェーディング、ドラマチックアート、ネガポジ反転、色抽出、ソリッドモノカラー、水彩画、ポスタリゼーション、スリム、フィッシュアイ
インターバル動画	撮影間隔（3秒、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分、30分、1時間）、撮影所要時間（12秒～99時間）、開始トリガー（即時、時刻指定）
録画中のAF.C	オフ／オン

再生機能

再生方法	1画像、マルチ画面表示（4、9、30、56画面）、拡大（最大16倍まで、スクロール可、クイック拡大可）、回転表示、ヒストグラム（Yヒストグラム、RGBヒストグラム）、白とび警告表示、縦位置自動回転、詳細情報表示、フォルダー表示、撮影日別表示、スライドショウ
消去機能	1画像消去、全画像消去、選択消去、フォルダー消去、クイックビュー消去
デジタルフィルター	ベースメイク、トイカメラ、ハイコントラスト、シェーディング、ドラマチックアート、ネガポジ反転、色抽出、ソリッドモノカラー、水彩画、ポスタリゼーション、スリム、フィッシュアイ、レトロ、デッサン、ミニチュア、ソフト、クロス
RAW展開	記録形式（JPEG）、アスペクト比、色空間、ホワイトバランス、カスタムイメージ、デジタルフィルター、増減感、高感度NR、シャドー補正、ディストーション補正
編集機能	リサイズ、トリミング（アスペクト比変更可）、インデックス、動画編集（分割および不要部分消去）、動画フレーム画像JPEG保存、赤目補正、バッファ RAW保存

カスタマイズ機能

カスタムファンクション	16項目
モードメモリ	11項目
カスタムボタン	●／▣ボタン（グリーンボタン、プレビュー、ワンタッチRAW+、AEロック、AF作動） クイックダイヤル（スマートエフェクト、アスペクト比、フォーカスモード、フォーカスアシスト、NDフィルター）
ワールドタイム	世界75都市に対応（28タイムゾーン）

電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI68
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC115J（別売）
電池寿命	撮影可能枚数…フラッシュ 50%発光：約250枚、フラッシュ発光なし：約260枚 再生時間…約160分 • 新品のリチウム電池使用、23°C、撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

外部インターフェイス

端子	USB 2.0／AV出力端子、HDMI出力端子（タイプD）
USB接続	MSC／PTP
ビデオ出力方式	NTSC／PAL

外形寸法・質量

外形寸法	約105.0mm（幅）× 58.0mm（高）× 34.0mm（厚）（吊り環、操作部を除く）
質量	約203g（専用電池、SDカード付き）、約183g（本体のみ）

付属品

同梱物	USBケーブル I-USB7、ストラップ O-ST131、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI68、専用充電器 D-BC68P、ACコード、ソフトウェア（CD-ROM）S-SW151、スタートガイド <これ以降はカメラに装着状態で出荷> ホットシューカバー Fk、ボディマウントカバー
ソフトウェア	Digital Camera Utility 5

撮影可能枚数と再生時間

（バッテリーフル充電時）

使用電源	使用温度	一般撮影	フラッシュ撮影		再生時間
			使用率50%	使用率100%	
D-LI68	23°C	約260枚	約250枚	約240枚	約160分

- 撮影枚数（一般撮影、フラッシュ使用率50%）はCIPA規格に準じた測定条件、その他については当社の測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

記録サイズ別撮影可能枚数の目安

（2GBのメモリーカード使用時）

アスペクト比	記録サイズ	JPEG画質			RAW
		★★★	★★	★	
16:9	L 9M	544枚	755枚	1264枚	103枚
	M 5M	908枚	1250枚	2060枚	–
	S 2M	2183枚	2939枚	4596枚	–
3:2	L 10M	461枚	641枚	1077枚	103枚
	M 6M	771枚	1064枚	1764枚	–
	S 2M	1871枚	2533枚	4010枚	–
4:3	L 12M	410枚	571枚	961枚	103枚
	M 7M	687枚	951枚	1582枚	–
	S 3M	1679枚	2281枚	3639枚	–
1:1	L 9M	547枚	759枚	1270枚	103枚
	M 5M	908枚	1250枚	2060枚	–
	S 2M	2183枚	2939枚	4596枚	–

- 撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリーカード等により異なります。

USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」は、パソコンでRAW画像の展開ができます。付属のCD-ROM（S-SW151）からインストールができます。
本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

Windows

OS	Windows 8.1（32bit／64bit）／Windows 8（32bit／64bit）／Windows 7（32bit／64bit）／Windows Vista（32bit／64bit）
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	2GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量：約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約5MB（JPEG）または約25MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

Macintosh

OS	OS X 10.9／10.8／10.7、Mac OS X 10.6
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	2GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量：約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約5MB（JPEG）または約25MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

メモ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、QuickTime が必要です。QuickTimeは下記アドレスからダウンロードできます。
  http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

⚠ **警告**　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

⚠ **注意**　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

⚠ 警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外した上、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて

⚠ 警告

- バッテリー充電器とACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器D-BC68Pで充電式リチウムイオンバッテリーD-LI68以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとすると、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて

⚠ 警告

- バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

- 本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
  1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
  2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
  3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

⚠ 警告

- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
  1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
  2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
  3. バッテリーや SD メモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。
- 本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC68P専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0～40°Cです。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。

- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- 三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブロアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- CMOS センサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。(有料)
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

保管について

- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
- カメラを使用した直後に SD メモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- SD　メモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
  4. SD　メモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用した SD メモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

Eye-Fiカードについて

- 本機は無線LAN機能を内蔵したSDメモリーカード「Eye-Fiカード」が使用できます。
- 無線 LAN で画像を転送するには、アクセスポイントの利用とインターネット環境が必要です。詳しくは、Eye-Fiのホームページを参照してください。（http://www.eyefi.co.jp）
- Eye-Fiカードは、最新のファームウェアに更新して使用してください。
- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、Eye-Fiカードを使用しないか、「Eye-Fi」の設定を「オフ」にしてください。
- Eye-Fiカードの使用が認められているのは、カードをご購入された国のみです。使用する国の法律を遵守してください。
- このカメラには Eye-Fi カードの通信機能をオン／オフする機能がありますが、Eye-Fiカードのすべての機能を保証するものではありません。
- Eye-Fiカードの使用方法は、Eye-Fiカードの使用説明書を参照してください。
- Eye-Fiカードに関する不具合等は、カードの製造元へお問い合わせください。

商標について

Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickTimeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
Intel、Intel Core、PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
Eye-Fi、Eye-Fi *connected*、およびEye-Fiロゴは Eye-Fi,Inc.の登録商標です。
この製品はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMIライセンシングの商標または登録商標です。
SILKYPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされているものです。

(i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
http：//www.mpegla.comをご参照ください。

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満 1 年間無料修理いたしますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
   - 火災・天災・地変等による故障
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等）による故障
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

メモ

メモ

「使用説明書」のご案内

本機の詳しい使い方を説明している「使用説明書」（PDF）をご用意しています。当社ホームページからダウンロードしてご利用ください。また、ご希望の場合は冊子をご購入いただくこともできます。当社サービス窓口にお問い合わせください。

当社ホームページ
http://www.ricoh-imaging.co.jp/

「使用説明書」ダウンロード
http://www.ricoh-imaging.com/manuals/

フォトスクール・写真クラブのご案内

http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧いただくか、ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

Pentax Ricoh Family Club

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局 TEL 03-3580-2060 FAX 03-3580-2065

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7
営業時間 9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

ショールーム・ギャラリーのご案内

http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/

リコーイメージングスクエア新宿（修理受付可） TEL 03-3348-2941 FAX 03-3345-8076

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）
営業時間 10：30～18：30（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア銀座 TEL 03-3289-1521

東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター 9階
営業時間 11：00～19：00（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア大阪 TEL 06-6271-7996（代）

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間 9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

ユーザー登録のお願い **http://www.ricoh-imaging.com/registration/**

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。

ホームページアドレス　http://www.ricoh-imaging.co.jp/

本製品に関するお問い合わせ　http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/

お客様相談センター

ナビダイヤル　0570-001313
（市内通話料金でご利用いただけます。）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。**TEL 03-4330-0008（代）**
営業時間　9：00～17：30（平日）　10：00～17：00（土・日・祝日）（年末年始、ビル点検日を除く）

修理受付　http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html

修理受付センター／ピックアップリペアサービス申し込み

ナビダイヤル　0570-001301
（市内通話料金でご利用いただけます。）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。**TEL 03-4330-0014（代）**
営業時間　9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）
※　ピックアップリペアサービスは、全国（離島など一部地域を除く）どこでも修理品梱包資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサービスです（全国一律料金）。インターネットからもお申し込みいただけます。
なお、弊社修理受け付け後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

修理受付窓口【宅配】【郵送】　TEL 03-3966-6121　FAX 03-3960-5158

〒174-0041　東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階 リコーイメージング株式会社 東京サービスセンター内
営業時間　9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

東京サービスセンター【窓口】　TEL 03-3960-5140（代）　FAX 03-3960-5147

〒174-0041　東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階
営業時間　9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

大阪サービスセンター【窓口】【宅配】【郵送】　TEL 06-6271-7996（代）　FAX 06-6271-3612

〒542-0081　大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間　9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

リコーイメージング株式会社

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

53081

R01DTF14
Printed in Philippines